



第28号

令和5年度下期

放生津地域振興会

発行責任者 宮島 伊佐夫

この度の能登半島地震（令和6年1月1日）の発生により被災された皆様には、心よりお見舞いを申し上げます。

越の海

地域の皆様におかれましては、日頃よりPTA活動にご理解とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

今年度は5月からコロナウイルス感染の5類に移行となり今年度からPTA活動も再開となりました。しかし従来通りとはいかずなかなか難しい面もありコロナで制限されて行っていた経験を生かしてPTA活動の再開となりました。まだまだ改善点等もございますので来年度は今年度の反省点を改善してより良い活動へと変えていきたいと考えております。その為にも地域との連携をしっかりと取ることにより良い環境づくりや生徒たちが安心安全に学校生活を送れる環境へと変わるものと思っております。

今年度は放生津小学校、新湊小学校と150周年を迎えて新湊中学校創立10周年で祝い事の多い年となり地域の皆様には多大なご協力を賜り本当にありがとうございました。これからもPTAとしても子供たちの健やかな成長と地域のサポートをさせて頂きたいと思っております。

最後に地域の皆様におかれましては、今後ともPTAへのご指導と力添えを賜りますようよろしくお願い申し上げます。



新湊中学校 PTA会長

高野 信寿

令和5年度 放生津校区社会福祉協議会だより

放生津校区社会福祉協議会 会長 二口 憲夫

●10月14日(土)「ふれあいランチ会」

【対象者】 昭和23年4月1日以前に生まれた方 (在宅一人暮らしで75歳以上の方)

毎年恒例の「ふれあいランチ会」ですが、昨年と同様に皆様の健康（コロナ感染予防）のことも考えて中止とさせて頂きました。

しかし、楽しみにしていらっしゃる方もおられるので民生児童委員の方に協力して頂き希望者の方にお弁当を配布していただきました。



●11月11日(土)「住民ふれあいの集い」参加者186名

地域の三世代交流を目的として各種団体の協力を得て4年ぶりに開催いたしました。

今年は、八幡保育園、放生津保育園、放生津小学校の1年生、新湊中学校の吹奏楽の方に協力して頂き、その後、ゲーム大会・ビンゴゲーム大会、そしてカレータイムで楽しい時間を過ごしました。



11月3日(金)

文化祭

今年は、飲食や食品バザーも解禁にして、皆さんの理解ある協力のお陰で、(サークル発表の場として、小学校・中学校の子ども達の協力も得、)滞りなく終えることが出来ました。結果的に、たくさんの地域の方々に参加して頂き、にぎやかな一日を皆さんで楽しんでいただきました。



放生津地域振興会

敬老会

対象者(75歳以上)

昭和23年9月15日以前に生まれた方

1,007名 ●米寿44名

【日時】 9月18日(月) 午後1時30分~3時30分

【会場】 放生津コミュニティセンター 1階集会室



当日は、100名近くの地域の高齢者の皆さんの参加のもと校下の保育園児の可愛いお遊戯、立町の曳山囃子方によるお囃子、ステップ21のサークルの方々のダンス、そしてコミセンの職員によるマツケンサンバで大いに盛り上がりました。

来年の再会を約束して大盛況のうちに終了しました。

みんなで考えよう！自主防災の必要性！



放生津校下防災訓練 10月29日(日)8時30分～

今年度は、命のバトンを全戸配布しました。防災訓練時、各町内から複数人の方に放生津コミュニティセンターに避難してもらい、命のバトンを実際に活用してもらいました。また、自治会長からの各町内の黄色いハンカチの掲揚状況、被害状況等の報告をエリアごとに集計し調査する事を試みもしました。その際に、ラインアプリの活用が情報交換に大いに役立つ事もわかり、今からの時代には欠かせないツールだと実感しました。

その後、避難所開設時に役立つ段ボールベットや、折り畳み式簡易テント等の説明を聞き、実際の組み立て方の実演指導を行いました。皆で協力することの大切さを学ぶいい機会になりました。



令和6年元日の能登半島地震の際には、新湊中学校に約900人、放生津小学校に約500人、コミュニティセンターに約150人の皆さんが避難されました。

何回かの避難訓練のお陰で、「自分の身は自分で守る」という“自助意識”がどこかにあったと思われる。また、各自治会長から各町内の被害状況などの情報連絡がグループラインで放生津コミュニティセンターに集約され、市との連携を迅速に対応する事も出来ました。翌日には、保健センターから職員の派遣、社会福祉協議会からの災害ボランティアの情報、東包括、各介護施設などの連絡がスムーズに行え、日ごろからのつながりの大切さを実感しました。

今回は、黄色いハンカチ作戦や命のバトンの十分な活用は出来ませんでした。使う事がなかったという事は、不幸中の幸いではなかったのではないのでしょうか。

能登半島地震において、被害にあわれた方々には心よりお見舞い申し上げます。



みんなの生涯学習・学級講座

生涯学習事業

●10月21日(土)

《ふるさと歴史講座》 「戦国史の舞台 放生津を歩く」

足利義材没後500年を記念して足利氏系図を見ながら、新湊博物館主査学芸員 松山充宏氏に解り易く解説をして頂きました。講義のあと、徒歩で史跡を見学しながら歴史を学びました。知っているつもりでも案外新しい発見もあり、「へえ〜」「ホウ〜」「フ〜ン」の単語が飛び交っており、楽しくあっという間に時間が過ぎていきました。



新湊博物館 主査学芸員 松山充宏氏



●11月21日(火)

「料理教室」



(共催/放生津地区食生活改善推進協議会)

●12月26日(火)

「ミニ門松作り」



地域支え合いネットワーク事業について



●12月21日(木)

参加人数60名

「クリスマス会」

今年は、爆笑劇団に来ていただき、面白おかしく高齢者の引きこもりと関係の深い「認知症」の症状や対応方法についてのお芝居を観覧しました。「久しぶりに笑ったわ〜」と、楽しい時間を過ごしました。



●令和6年2月19日(月)

参加人数34名

※エコノミークラス症候群対策「ヨガ体操」

避難所でのエコノミークラス症候群対策として、椅子に座って出来る簡単なヨガ体操を体験しました。「これなら、家でも出来るわ〜」「でも、家に帰ったら忘れとるわ〜」皆さん、一見お元気そうに見えますが、元日の能登半島地震の後遺症も心の奥に抱えていると思われる。だからこそ、エコノミークラス症候群という言葉に敏感になっておられ、たくさんの参加者があったのだと思います。



高齢者学級

●10月12日(木)

「口腔ケアについて」



女性学級

●9月30日(土)・10月7日(土)

「編み物・押し絵教室」



青少年学級

●10月21日(土)

「ハロウィンの工作」



(共催/放生津母親クラブ)

●12月9日(土)

「クリスマスケーキ作り」



(共催/放生津母親クラブ)



放生津の
曳山御蔵
法土寺町



法土寺町 曳山格納庫

- ① 建設年月 2019年5月
- ② 建設金額 約2,800万円
- ③ 総世帯数 45世帯

50年以上前(建設年月不明)から日吉神社に曳山格納庫があり、途中「川の駅」に2、3年格納していましたが、自治会役員会の中で、曳山格納庫を新たに建設することになり、2017年に曳山委員会を立ち上げました。

法土寺町内に土地を確保し、曳山格納庫を建設することになり、2019年4月から、建設資金の積み立てを始め現在に至っています。小さな町なので、なかなか土地の確保は厳しかったのですが、結果として良い場所が、確保できたと思っています。建設後は、放生津コミュニティセンターで完成披露パーティーも開かせていただいて、盛況に実施出来ました。現在は国の重要無形民俗文化財の指定を受けて、曳山の修繕・修理に向けて曳山委員会で検討中です。これからも大変ですが頑張っていきたいと思っています。



広報潮風では毎回放生津地区の「曳山御蔵」の紹介をしています。
次回の曳山御蔵は、立町です。

生涯学習
センター外学習



一日研修

「さら屋せんべい焼き体験&庄川遊覧」

●10月9日(月) 参加人数 30名

あいにくの雨模様でしたが、現地に到着するころには雨も上がりました。さら屋ではてんやわんやでせんべい焼き体験をし、「先生のいう事を、聞いてから!勝手に焼かないで~!やめて~!!」怒号が飛び交う始末(笑)井波の道の駅では、さっきまでせんべいを嫌ほど見て来たのに、またお土産屋さんでせんべいを手に取っている姿にあきれ始末でした。庄川遊覧では、自然の風を身体全体に受け、貸し切り状態の船の中で「こきりこ」の大合唱で大いに盛り上がりました。皆さん、心身ともにリフレッシュした顔をされていました。



編集後記

「なあーん立山が守ってくれから大丈夫やちゃー!」富山の自然災害の少なさの安全神話が吹き飛んだ1月1日の夕刻でした。震度5強という経験したことのない揺れが地域を襲いました。第1報では富山湾沿岸に3mの津波警報が発令され「すぐに逃げて下さい!命を守る行動をとってください!」テレビから女性アナウンサーの絶叫が響き避難をされた方も多かったです。まもなく津波警報は80cmに訂正され被害は最小に留まりましたが、一瞬東日本大震災の時の大津波の様子が脳裏をよぎりました。直ちに放生津コミュニティセンターに避難所が開設されました。時間を経る毎に各自治会長から連合自治会のグループラインで続々と被害状況が報告されました。これも日頃の地域振興会の自主防災会による防災訓練の効果のあらわれだと思いました。一方で、次々と能登地区等の被害の甚大さが報道され愕然としました。被災された方たちには心からお見舞いを申し上げます。ともに、一日も早い復旧、復興をお祈りします。我が家では2007年3月の能登半島地震の後、家具や食器棚TV等への地震対策を行っていたので幸いそれらの被害は皆無でした。皆さんもこれを機会に身の回りの防災対策を見直し、「なあーん立山が守ってくれんでも日頃から備えをしとるから大丈夫やちゃー!」と言えるようになりたいものです。

(H・M)

